

審査項目

1. 設計業務等実績評価基準

参加申込書に添付して提出された書類より事務局が採点を行った結果をプロポーザル審査委員会に報告し、評価点合計の上位から順に、二次審査に進む5者程度を選定する。評価点は、審査項目ごとの評価基準を基礎として、項目によっては評価に応じた評価係数を乗じて算出し合算する。

表-1 <一次審査（書類審査）で審査する評価事項>

審査項目	評価の着目点	評価の観点	様式番号	評価配分	評価基準				
					A	B	C	D	E
①企業力	有資格者数	1) 一級建築士、構造設計一級建築士、設備設計一級建築士の延べ人数	様式2	20	20	16	12	8	4
	過去15年間の実績	2) 事務所の同種類似業務実績(5件を上限とし、A:5件、B:4件、C:3件、D:2件、E:1件)	様式3	30	30	25	20	15	10
②管理技術者	専門技術力	1) 同種類似業務の実績件数(3件を上限とし、A:3件、B:2件、C:1件)	様式4	30	30	20	10	/	
	専任性	2) 手持ち業務件数(10件以上は0点とする)	様式4	20	20	16	12		
合計				100	-				

(1) 評価の着目点に対する評価基準

表-1における評価基準は、以下のとおりとする。

①企業力

i 有資格者数

以下のとおりとする。

A:25人～	B:20～24人	C:15～19人	D:10～14人	E:～9人
20	16	12	8	4

なお、有資格者の人数は事業所に配置されている人数とし、会社全体の人数とはしない。

ii 過去15年間の実績

過去実績については、事業所毎の過去実績とし、各評価基準×評価係数を乗じ算出し、評価点とする。

- ・実施要項Ⅲ(8)において、消防庁舎の新築及び改築の設計業務委託を完了した実績がある場合は評価係数1.05を乗じる。また特別豪雪地帯での新築及び改築の設計業務委託を完了した実績がある場合は評価係数1.05を乗じる。

なお特別豪雪地帯とは、豪雪地帯対策特別措置法に基づき指定された地域を指す。

(算定例) 実績 2 件 (内訳: 消防庁舎 1 件、特別豪雪地帯の警察庁舎 1 件) の場合
 $15 \text{ 点} \times ((1.00 \times 1.05) \times (1.00 \times 1.05)) = 16.53$ 小数点第 3 位以下切捨て

②管理技術者

i 過去 15 年間の実績

過去実績の評価対象は、平成 19 年 4 月 1 日以降に、管理技術者又は総合 (建築) 主任担当技術者として従事した実績のみ評価対象とし、各評価基準×評価係数を乗じ算出し、評価点とする。

(注 1) 管理技術者とは、公共建築設計業務委託共通仕様書にて定義する契約の履行に関し、業務の管理及び統轄等を行う者で、契約書の規定に基づき、受注者が定めた者をいう。

(注 2) 主任担当技術者とは、管理技術者の中で各分担業務分野における担当技術者を総括する役割を担う者をいう。また総合 (建築) 分野とは、平成 31 年国土交通省告示第 98 号別添一第 1 項第一号及び第二号において示される「設計の種類」における「総合」をいう。

- ・実施要項Ⅲ (8) において、消防庁舎の新築及び改築の設計業務委託を完了した実績がある場合は評価係数 1.05 を乗じる。また特別豪雪地帯での新築及び改築の設計業務委託を完了した実績がある場合は評価係数 1.05 を乗じる。

なお特別豪雪地帯とは、豪雪地帯対策特別措置法に基づき指定された地域を指す。

(算定例) 実績 2 件 (内訳: 消防庁舎 1 件、特別豪雪地帯の警察庁舎 1 件) の場合
 $20 \text{ 点} \times ((1.00 \times 1.05) \times (1.00 \times 1.05)) = 22.05$ 小数点第 3 位以下切捨て

ii 専任性

手持ち業務委託数が以下のとおりとする。

A:最少	B:2 番目に少ない	C:3 番目に少ない	D:4 番目に少ない	E:左記以外
20	16	12	8	4

手持ち業務件数が 10 件以上の場合は、評価基準は 0 点とする。

手持ち業務数が同数の場合は、管理技術者又は総合 (建築) 主任担当技術者として従事する手持ち設計業務の施設完成年月の完了日時の早い順に決定する。直近順で同年月の場合は次点の施設完成年月の完了日時順に決定する。

新消防庁舎基本実施設計業務委託公募型プロポーザル
一次審査（書類審査）

参加者名称 _____

審査項目	評価の観点	評価配分	評価基準	評価点	結果
①企業力	1) 一級建築士、構造設計一級建築士、設備設計一級建築士の延べ人数	20	A: 25人～	20	
			B: 20～24人	16	
			C: 15～19人	12	
			D: 10～14人	8	
			E: ～9人	4	
	2) 事務所の同種類似業務実績	30	A: 5件	30	
			B: 4件	25	
			C: 3件	20	
			D: 2件	15	
			E: 1件	10	
②管理技術者	1) 同種類似業務の実績件数	30	A: 3件	30	
			B: 2件	20	
			C: 1件	10	
	2) 手持ち業務件数	20	A: 最少	20	
			B: 2番目に少ない	16	
			C: 3番目に少ない	12	
			D: 4番目に少ない	8	
			E: 上記以外	4	
			※10件以上	0	
	合 計		100	評価点	

2. 技術提案書評価基準

下表の①から⑥までの「課題」について、プロポーザル審査委員会委員が個別審査項目として、5段階に評価する。評価点は、課題ごとの評価ウエートを基礎として、評価に応じた評価係数を乗じて算出し合算する。（表－3及び計算式を参照）

なお⑦の見積価格に対する評価は、一括審査とし、審査委員会委員の個別審査項目の合計得点に審査委員会による一括審査項目の得点を加算した合計を審査得点とする。

表－2 <二次審査（ヒアリング審査）で審査する評価事項>

（1）個別審査項目

課 題	評 価 の 観 点	評 価 ウエート
① 災害活動拠点として災害に強く持続可能な庁舎づくりのために	1) 災害及びバックアップ機能に対する考え方	3 0
	2) 迅速かつ機動的な消防機能を発揮できる最適な動線計画について	
	3) 敷地の有効活用に対する考え方（訓練施設等）	
② 利便性に優れ人にやさしい庁舎づくりのために	1) 来庁者への配慮について	1 5
	2) 圏域住民への防災情報発信や防災学習について	
	3) 職員の健康、働きやすさへの配慮について	
③ 将来の変化に柔軟に対応できる庁舎づくりのために	1) 執務環境の考え方	1 0
	2) ユニバーサルデザインについて	
④ 経済性に優れた庁舎づくりのために	1) スマート・エネルギーの考え方	1 5
⑤ 建設コスト及び維持管理	1) 建物の長寿命化について	1 5
	2) 建設コスト・ライフサイクルコストの縮減について	
	3) 効果的な機能共有について	
⑥ 雪に強い建物づくりのために	1) 雪国での建築設計について	1 5
	2) 除排雪に対する考え方	
合 計		1 0 0

表－3

評価	A	B	C	D	E
評価内容	特に優れている	優れている	普通	やや劣る	劣る
評価係数	1. 0	0. 8	0. 6	0. 4	0. 2

評価ウエート × 評価に応じた評価係数 = 評価点

(2) 一括審査項目

評価項目	採点基準			
⑦業務委託に関する見積書	提出された見積書の価格により、次の算定式により点数化し評価する。(少数第1位を切捨てとする。) 見積書の評価点 = $20 \times \text{最低提案見積価格} \div \text{提案見積価格}$			
合 計			評価点	

新消防庁舎基本実施設計業務委託公募型プロポーザル
二次審査（ヒアリング審査）

参加者名称 _____

審査員 _____

1. 個別審査項目

課 題	評 価 の 観 点	A) 評価 ウエート	B) 評価	評価点 A×B	結果	
①災害活動拠点として災害に強く持続可能な庁舎づくりのために	1) 災害及びバックアップ機能に対する考え方 2) 迅速かつ機動的な消防機能を発揮できる最適な動線計画について 3) 敷地の有効活用に対する考え方（訓練施設等）	3 0	特に優れている	1.0	3 0	
			優れている	0.8	2 4	
			普通	0.6	1 8	
			やや劣る	0.4	1 2	
			劣る	0.2	6	
②利便性に優れた人にやさしい庁舎づくりのために	1) 来庁者への配慮について 2) 圏域住民への防災情報発信や防災学習について 3) 職員の健康、働きやすさへの配慮について	1 5	特に優れている	1.0	1 5	
			優れている	0.8	1 2	
			普通	0.6	9	
			やや劣る	0.4	6	
			劣る	0.2	3	
③将来の変化に柔軟に対応できる庁舎づくりのために	1) 執務環境の考え方 2) ユニバーサルデザインについて	1 0	特に優れている	1.0	1 0	
			優れている	0.8	8	
			普通	0.6	6	
			やや劣る	0.4	4	
			劣る	0.2	2	
④経済性に優れた庁舎づくりのために	1) スマート・エネルギーの考え方	1 5	特に優れている	1.0	1 5	
			優れている	0.8	1 2	
			普通	0.6	9	
			やや劣る	0.4	6	
			劣る	0.2	3	
⑤建設コスト及び維持管理	1) 建物の長寿命化について 2) 建設コスト・ライフサイクルコストの縮減について 3) 効果的な機能共有について	1 5	特に優れている	1.0	1 5	
			優れている	0.8	1 2	
			普通	0.6	9	
			やや劣る	0.4	6	
			劣る	0.2	3	
⑥雪に強い建物づくりのために	1) 雪国での建築設計について 2) 除排雪に対する考え方	1 5	特に優れている	1.0	1 5	
			優れている	0.8	1 2	
			普通	0.6	9	
			やや劣る	0.4	6	
			劣る	0.2	3	
合 計		1 0 0	評価点			

2. 一括審査項目

評価項目	採点基準			
⑦業務委託に関する見積書	<p>提出された見積書の価格により、次の算定式により点数化し評価する。(少数第1位を切捨てとする。)</p> <p>見積書の評価点 = $20 \times \text{最低提案見積価格} \div \text{提案見積価格}$</p>			
合 計			評価点	